

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

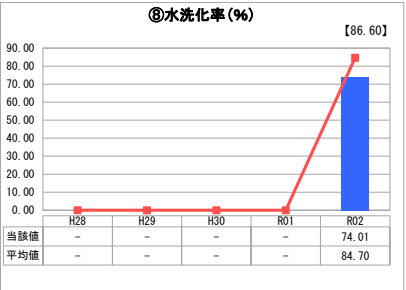
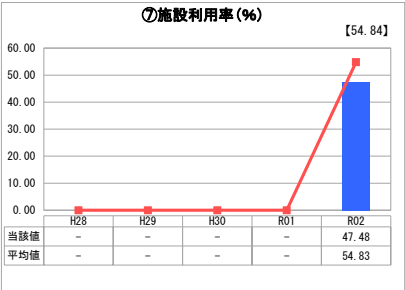
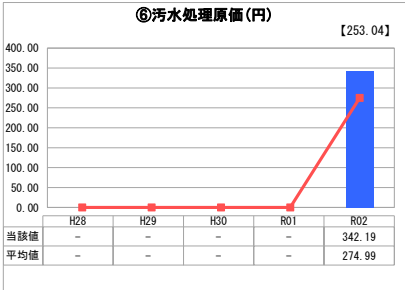
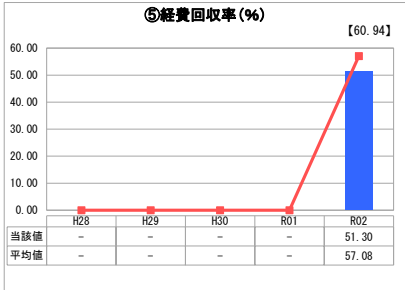
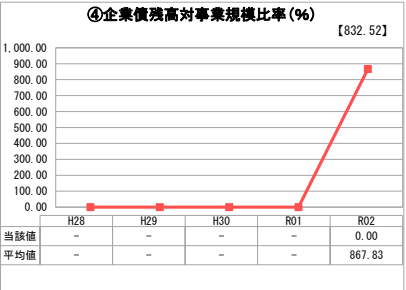
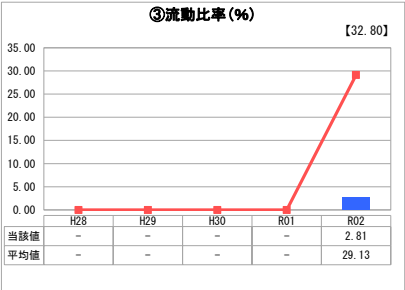
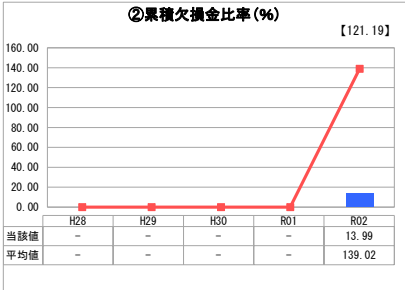
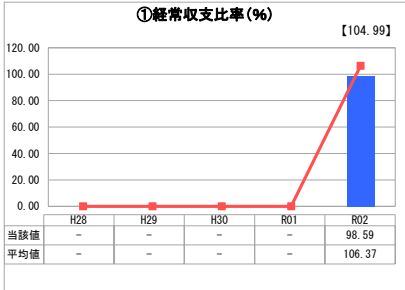
宮城県 石巻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	67.95	3.93	84.19	3,575

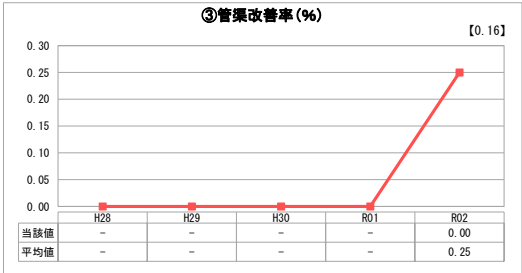
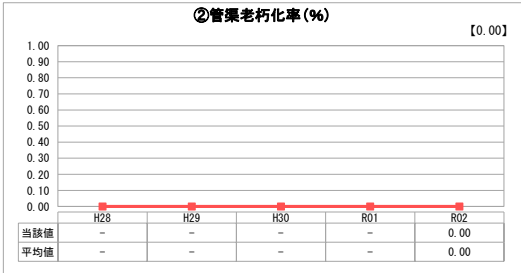
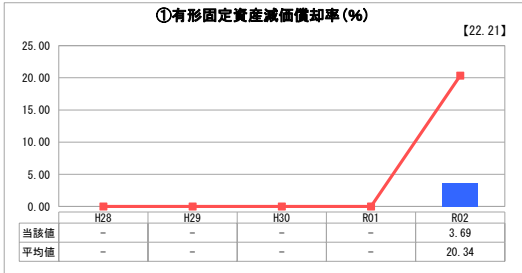
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
140,824	554.55	253.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,502	5.10	1,078.82

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

人口密度が高い一部地域が公共下水道に変更となり、全ての項目において、良好とはいえない数値となっている。将来的には公共下水道への接続可能な地域については、順次変更する計画としている。

経常収支比率、累積欠損金比率については、単年度収支の赤字を示していることから、更なる収益の確保と維持管理経費の削減に努める必要がある。

流動比率及び経費回収率、施設利用率、水洗化率については、人口密度が高い一部地域が公共下水道に変更となり、使用料が減少したため、類似団体を下回っている。

汚水処理原価については、地理的要因等により、建設コストの増が考えられ、一部地区が公共下水道に変更となったため使用料が減少し、類似団体より高い水準となっており、今後は維持管理経費の削減を検討していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から30年となり、一部地区の公共下水道への移管を行った。

今後策定予定のストックマネジメントの手法を活用した調査・修繕・更新の長寿命化事業への取り組みを進めていきたい。

## 全体総括

今後、施設の老朽化に伴う修繕費用の増加や人口減少による料金収入の増加が難しいことにより、経営環境が厳しさを増していくことから、今後見直しを予定している経営戦略に基づく徹底した経営健全化や今後策定予定のストックマネジメントにより計画的に施設の長寿命化を図っていかねばならない。

また、公営企業会計の導入により、経理内容の明確化が図られることから、汚水処理原価に係る使用料の適正な水準を見定め、経営の安定化に努めるほか、復旧・復興（雨水事業）により増大した施設を含め、効率的な施設の維持管理を進める必要があると考えられる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。